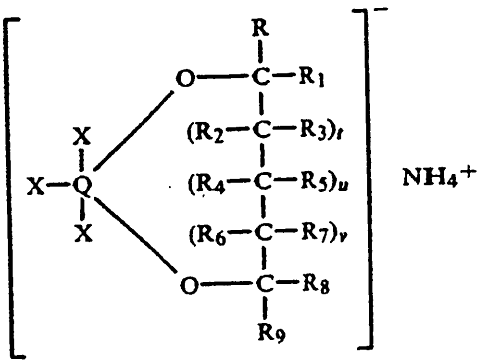
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

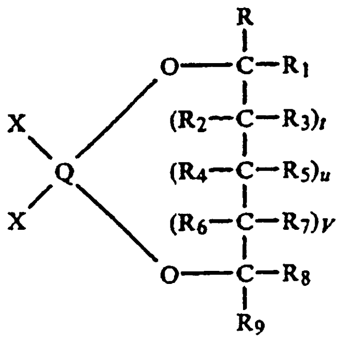
【公表番号】特表2007-514732(P2007-514732A)
【公表日】平成19年6月7日(2007.6.7)
【年通号数】公開・登録公報2007-021
【出願番号】特願2006-544590(P2006-544590)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/095　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/28　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/16　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　21/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/095
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　25/28
Ａ６１Ｐ　25/16
Ａ６１Ｐ　21/04

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月14日(2007.11.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
神経変性疾患の治療及び予防における使用のために特定される医薬組成物であって、以下の式の化合物の有効な量を含む医薬組成物：

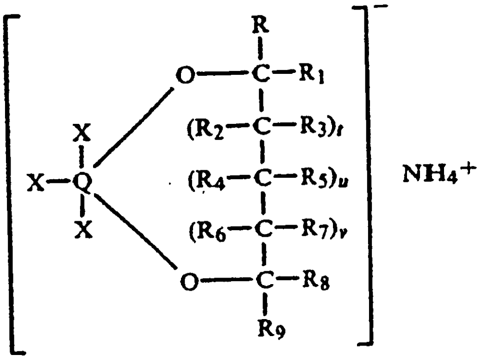


(A)

又はTeO_2・$HOCH_2CH_2OH$・NH_4Clの錯体；
又は

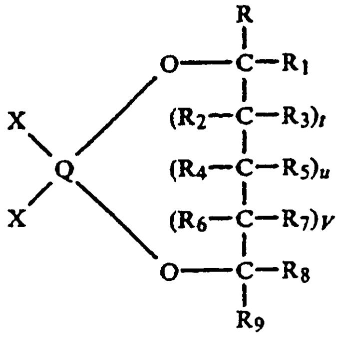

(B)

又はTeO_2もしくはTeO_2の錯体（Ｃ）
又は$PhTeCl_3$（Ｄ）
又はTeX_4（式中、ＸはＣｌ，Ｂｒ又はＦである）
又は$(C_6H_5)_4P+(TeCl_3(O_2C_2H_4))-$（Ｅ）
式中、ｔは１又は０であり、ｕは１又は０であり、ｖは１又は０であり；Ｒ，R_1，R_2，R_3，R_4，R_5，R_6，R_7，R_8及びR_9は同一か又は異なり、水素、１～５個の炭素のヒドロキシアルキル、ヒドロキシ、１～５個の炭素原子のアルキル、ハロゲン、１～５個の炭素原子のハロアルキル、カルボキシ、２～１０個の炭素のアルキルカルボニルアルキル、１～５個の炭素原子のアルカノイルオキシ、１～５個の炭素原子のカルボキシアルキル、アシル、アミド、シアノ、１～５個の炭素のアミドアルキル、２～１０個の炭素のＮ－モノアルキルアミドアルキル、４～１０個の炭素のＮ，Ｎ－ジアルキルアミドアルキル、１～５個の炭素のシアノアルキル、１～５個の炭素原子のアルコキシ、２～１０個の炭素原子のアルコキシアルキル、及び－COR_{10}からなる群から独立して選択され、R_{10}は１～５個の炭素のアルキルであり；及びＸはハロゲン及びその錯体である。
【請求項２】
化合物が、アンモニウムトリクロロ（ジオキソエチレン－Ｏ，Ｏ'）テルレート又はTeO_2、エチレングリコール及び塩化アンモニウムの錯体である請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
化合物を、保護されるべきドパミン作用性ニューロンが位置する場所に非経口的に又は直接投与するために設計される請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項４】
化合物が、神経向性の成長因子と組み合わされて使用される請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項５】
化合物を、経口的に投与するために設計される請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項６】
化合物が、抗痙攣剤又は抗炎症剤と組み合わされて使用される請求項５に記載の医薬組成物。
【請求項７】
化合物が、医薬的に許容可能な担体又は希釈剤と混合された請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項８】
神経変性疾患の治療又は予防のために特定される医薬組成物であって、以下の式の化合物の治療的に有効な量を含む医薬組成物：



(A)

又はTeO_2・$HOCH_2CH_2OH$・NH_4Clの錯体；
又は



(B)

又はTeO_2もしくはTeO_2の錯体（Ｃ）
又は$PhTeCl_3$（Ｄ）
又はTeX_4（式中、ＸはＣｌ，Ｂｒ又はＦである）
又は$(C_6H_5)_4P^+(TeCl_3(O_2C_2H_4))^-$（Ｅ）
式中、ｔは１又は０であり、ｕは１又は０であり、ｖは１又は０であり；Ｒ，R_1，R_2，R_3，R_4，R_5，R_6，R_7，R_8及びR_9は同一か又は異なり、水素、１～５個の炭素のヒドロキシアルキル、ヒドロキシ、１～５個の炭素原子のアルキル、ハロゲン、１～５個の炭素原子のハロアルキル、カルボキシ、２～１０個の炭素のアルキルカルボニルアルキル、１～５個の炭素原子のアルカノイルオキシ、１～５個の炭素原子のカルボキシアルキル、アシル、アミド、シアノ、１～５個の炭素のアミドアルキル、２～１０個の炭素のＮ－モノアルキルアミドアルキル、４～１０個の炭素のＮ，Ｎ－ジアルキルアミドアルキル、１～５個の炭素のシアノアルキル、１～５個の炭素原子のアルコキシ、２～１０個の炭素原子のアルコキシアルキル、及び－COR_{10}からなる群から独立して選択され、R_{10}は１～５個の炭素のアルキルであり；及びＸはハロゲン及びその錯体である。
【請求項９】
前記神経変性疾患が、アルツハイマー病、パーキンソン病、多発性硬化症、脳卒中症候群、及び筋萎縮性側索硬化症からなる群から選択される請求項８に記載の医薬組成物。